

株式会社 太陽工機

**2008年3月期決算 及び
中期経営計画説明会**

2008年5月8日

- I. 会社概要
- II. 2008年3月期実績
- III. 中期経営計画
- IV. 2009年3月期業績見通し

I. 会社概要

会社概要

商号	株式会社 太陽工機
設立年月日	1986年3月
本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
代表者	代表取締役社長 渡辺 登
事業内容	研削盤の製造・販売
売上高	6,471 百万円 (2008年3月期実績)
経常利益	734 百万円 (2008年3月期実績)
総資産額	3,672 百万円 (2008年3月期実績)
従業員数	173 名 (2008年3月期末現在)

代表取締役経歴

1971年3月	東京工業大学工学部生産機械工学学科卒業
1971年3月	株式会社ツガミ入社 (1984年6月退社)
1984年7月	ユニオンツール株式会社入社 (1986年2月退社)
1986年3月	有限会社太陽工機設立 代表取締役就任
1988年5月	株式会社太陽工機に組織変更 代表取締役 (現任)

企業理念・経営方針

私たちは、先進的技術を駆使した製品を創造し、
精密加工を通して世界の製造業の発展に貢献する

1. 内外の法令を遵守し、フェアな企業活動に徹する
2. イノベーションを追求し、最先端の技術力と提案力で
社会に貢献する
3. 企業価値を高め、顧客、従業員、株主、その他のステーク
ホルダーに報いる

年 月	概要
1986年3月	工作機械の設計、製作を目的に有限会社太陽工機創業
1988年5月	株式会社太陽工機（資本金5,000千円）に組織変更
1989年10月	立形研削盤（専用機）を開発
1990年10月	立形研削盤（汎用機）を開発して、シリーズ化
1994年3月	（株）池貝が資本参加（持株比率64.0%）
2001年5月	（株）森精機製作所が資本参加（当初持株比率40.0%）
2005年6月	本社工場を新潟県長岡市雲出工業団地に新設
2005年10月	立形研削盤NVGシリーズ（標準機）を開発
2007年3月	立形研削盤SVGシリーズ（標準機）を開発
2007年12月	ジャスダック上場

当社の 特色

1. 立形研削盤を最初に開発・販売
2. タレット技術で優位
3. 複合化技術で優位



顧客価値の追求

加工精度の向上

生産効率の向上(工程集約)

弊社の 研削盤の 技術的 特徴

- 研削盤における精度・剛性を高めるため1989年に業界初の**立形研削盤**を開発
 - 研削砥石を立に設置することで重力に対して垂直に回転させるため物理的に剛性が高く高精度を実現
 - ワークを垂直方向へ設置するため操作性が高い
 - 垂直方向に駆動するため省スペース化に寄与
- スループットを高めるための数値制御研削盤、複数の加工を網羅する**複合研削盤**の開発に注力



主なユーザー

自動車



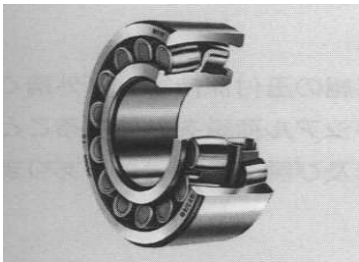
トランスミッション ・ シャフト

航空機



シリンダ関連部品

ベアリング



内輪・外輪部品

建設機械



シリンダ部品

主な加工物



トランスミッション用ギア関連部品
(自動車など全般)



スピンドル
(工作機械の重要部品)



砥石軸用部品(工作機械)

サブミクロン(1万分の1ミリ)単位の精度を追求



ハイテク日本の礎 ~ 日本を支える当社の研削盤
精密機械における重要部品の最終加工を担当

工作機械 スピンドル

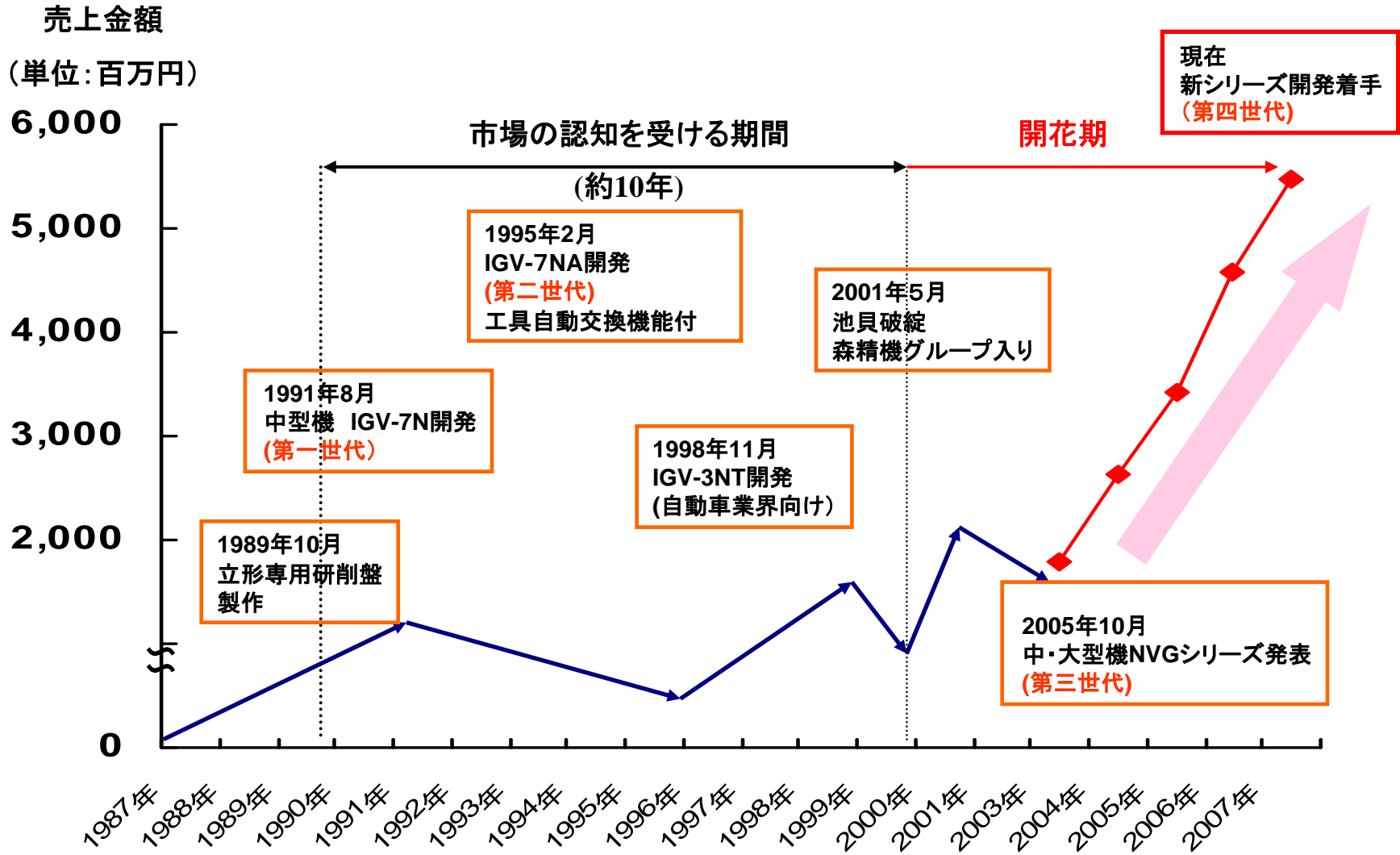
半導体製造装置 ステッパー

多関節ロボット 減速機

半導体関連 セラミック治具

日本メーカーの製品高精度化・競争力強化に寄与
グローバルマーケットへの優位性に貢献

1-7 企業サイクル



Ⅱ. 2008年3月期実績

- 受注金額: **7,284**百万円 (前年度比**38.2%**増加)
大手製造業・エネルギー関連・環境関連・建設機械関連の
設備投資堅調持続

- 主力汎用立形研削盤(NVG・NVG-Tシリーズ)が
受注・売上の増加に寄与

- 業績はほぼ従来計画通り
 - 売上高: **6,471**百万円 (前年度比:**18.4%**増加)
 - 営業利益: **792**百万円 (前年度比:**32.6%**増加)
 - 営業利益率: **12.2%** (前年度比:**1.3p**上昇)

- 株主資本比率**60.2%**へ上昇し、財務健全化
新株式発行により**648**百万円の資金調達
有利子負債の削減

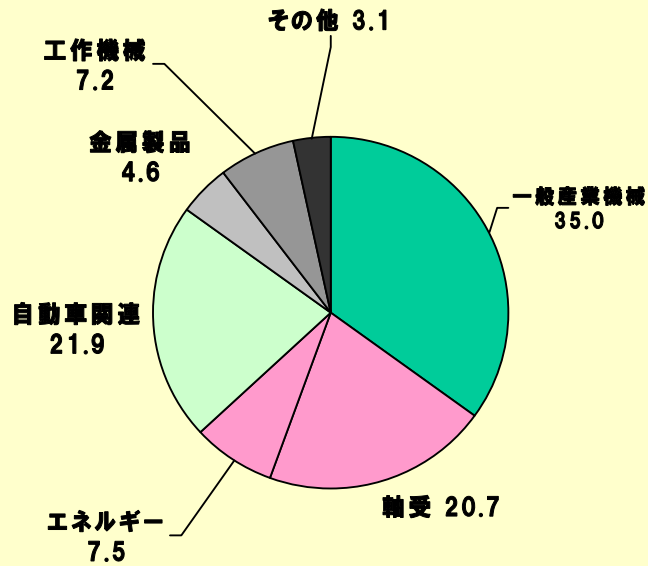
	2007年3月期	2008年3月期			
	(千円)	(千円)	増減額(千円)	増減率(%)	従来予想(千円)
売上高	5,465,390	6,471,418	1,006,028	18.4	6,400,000
営業利益	597,623	792,384	194,760	32.6	804,000
(営業利益率)	10.9%	12.2%	-	-	12.6%
経常利益	569,949	734,566	164,616	28.9	770,000
(経常利益率)	10.4%	11.3%	-	-	12.0%
税引前利益	510,358	732,086	221,727	43.4	-
当期純利益	288,059	430,050	141,991	49.3	447,000

	製品別受注高				
	2007年3月期実績		2008年3月期実績		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	増減率(%)
立形研削盤	3,722,686	70.6	5,348,495	73.4	43.7
横形研削盤	651,664	12.4	1,123,340	15.4	72.4
その他専用研削盤	896,531	17.0	812,477	11.2	▲9.4
合計	5,270,882	100.0	7,284,313	100.0	38.2
(うち輸出)	(426,181)	(8.1)	(862,604)	(11.8)	(102.4)
	製品別売上高				
	2007年3月期実績		2008年3月期実績		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	増減率(%)
立形研削盤	3,258,178	59.6%	4,683,890	72.4	43.8
横形研削盤	987,730	18.1%	827,126	12.8	▲16.3
その他専用研削盤	1,219,481	22.3%	960,401	14.8	▲21.2
合計	5,465,390	100.0%	6,471,418	100.0	18.4
(うち輸出)	(241,640)	(4.4)	(809,545)	(12.5)	(235.0)

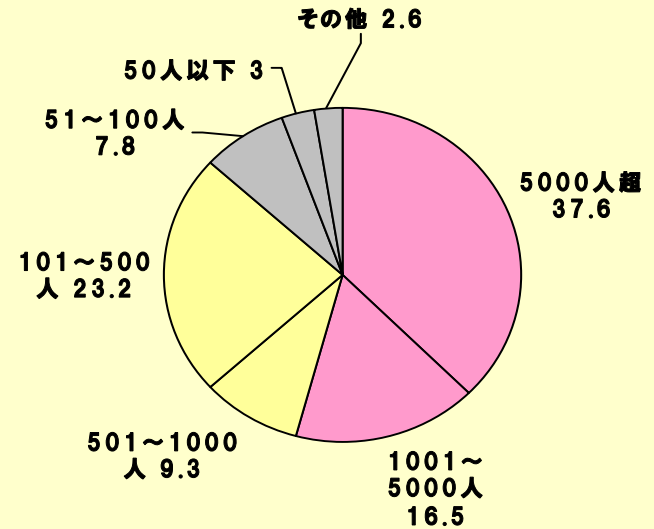
- 立形研削盤伸長 ⇒ 建設機械・ベアリング・航空機・エネルギーなどの重厚長大産業向けの受注・売上が好調に推移
- 横形・その他研削盤 ⇒ 自動車向け受注が調整局面にあったことから、売上は落ち込むも、受注については需要回復し増加
- 海外売上高の比率上昇 ⇒ アジアを中心に、建設機械など一般産業機械への受注・売上増加

II-4 顧客業種別・規模別受注構成比

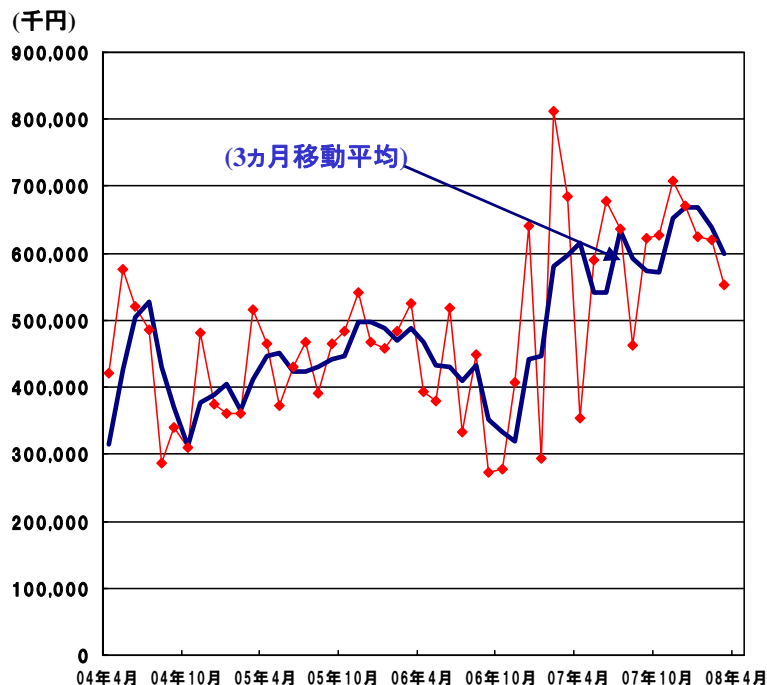
業種別構成比：2008年3月期実績（％）



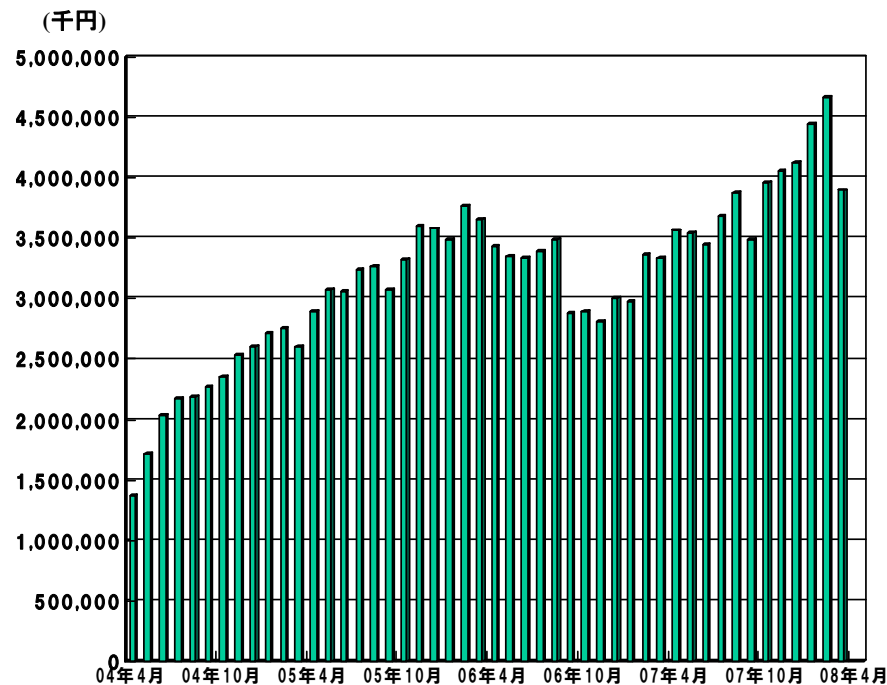
従業員規模別構成比：2008年3月期実績（％）



受注推移



受注残高推移



通期受注額 72億円

高水準を維持し、更なる飛躍へ

期末受注残高 39億円

今期6.2ヶ月分の受注を確保

	2007年3月期実績		2008年3月期実績		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	増減額(千円)
流動資産	2,613,781	82.1	3,100,162	84.4	486,381
固定資産	571,355	17.9	572,830	15.6	1,475
資産合計	3,185,136	100.0	3,672,993	100.0	487,856
流動負債	2,053,276	64.5	1,462,426	39.8	▲590,850
固定負債	0	0.0	0	0.0	-
株主資本合計	1,131,859	35.5	2,210,566	60.2	1,078,707
純資産合計	1,131,859	35.5	2,210,566	60.2	1,078,707
負債・純資産合計	3,185,136	100.0	3,672,993	100.0	487,856
(有利子負債)	1,500,000	47.1	696,000	18.9	▲804,000

➤ 流動資産:事業拡大により売上債権・棚卸資産増加

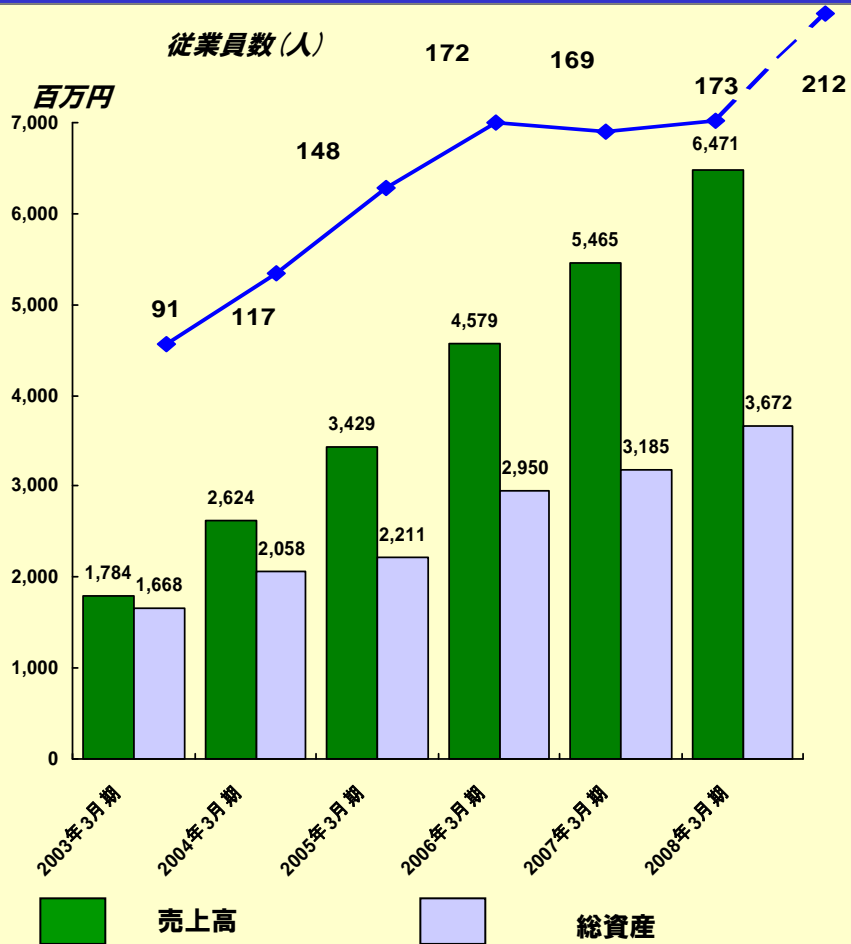
資産効率性 ⇒ 売上債権回転期間 (2.4ヶ月 ⇒ 3.1ヶ月) ※期末の売上増加に起因

棚卸資産回転期間 (2.1ヶ月 ⇒ 1.7ヶ月)

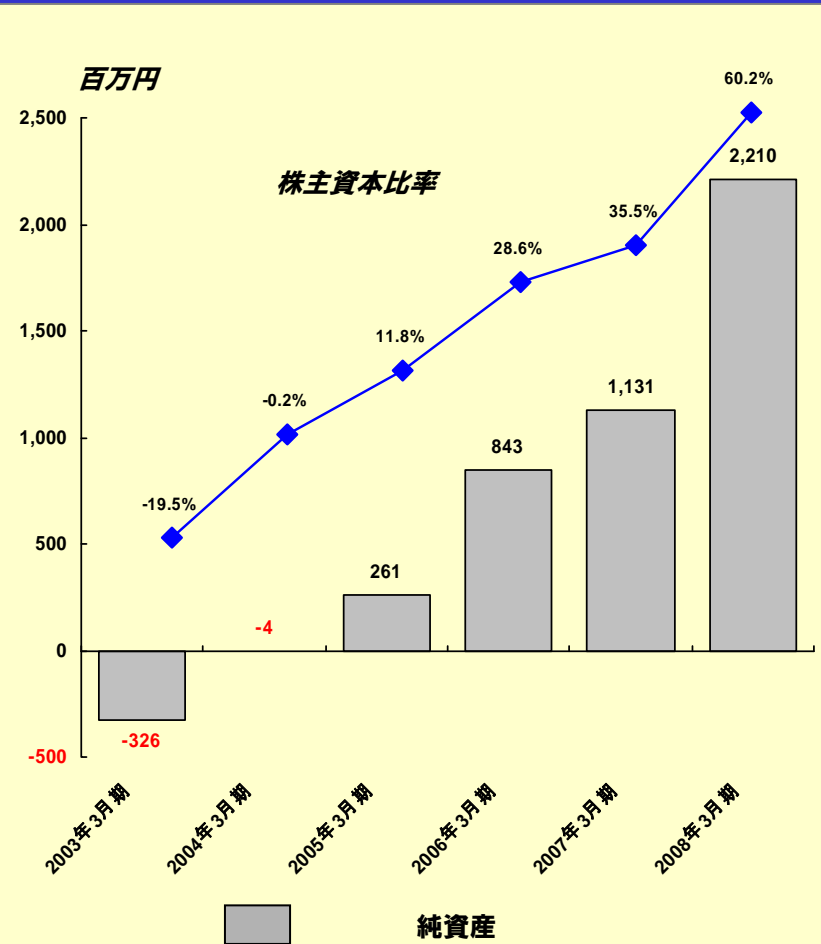
➤ 上場に伴う新株式発行により648百万円の資金調達実施 ⇒ 自己資本比率は60.2%(前年度35.5%)へ大幅上昇

➤ 調達資金及び収益増を原資に有利子負債削減 ⇒ 有利子負債比率は18.9%へ低下

売上高・総資産・従業員数



純資産・株主資本比率



Ⅲ. 中期経営計画【2008年度～2010年度】

当社の経営ビジョン・計画

未来産業社会を基礎から支える

**内外の法令を遵守し、
フェアな企業活動に徹する**

**イノベーションを追求し、
最先端の技術力と提案力で社会に貢献する**

**企業価値を高め、顧客・従業員・株主・
その他ステークホルダーに報いる**

研削盤No.1 メーカーへ

売上高

100億円

営業利益率

20%

海外への製品供給率

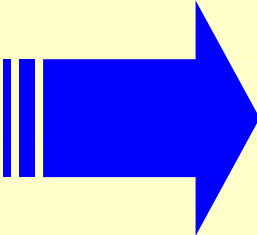
30%

株主資本比率

70%

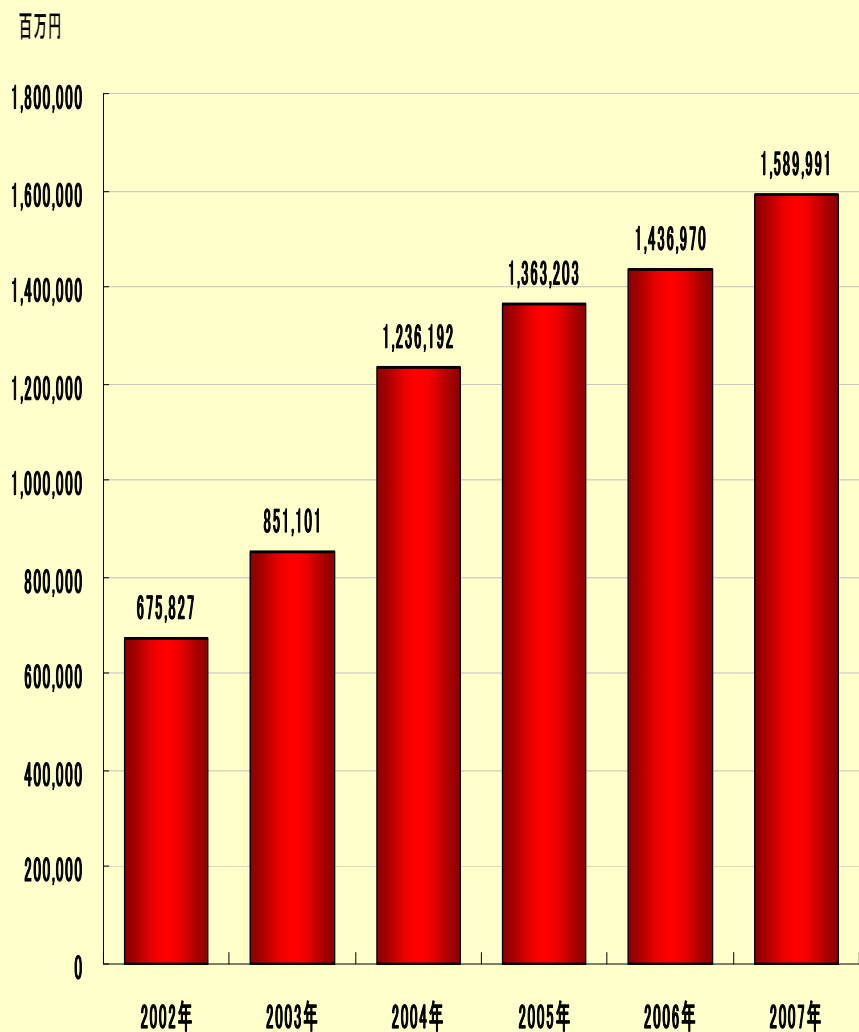
今後3年間の業績の推移

(単位:百万円)

	2008年3月期		2011年3月期目標
売上高	6,471		10,000
営業利益	792		2,000
営業利益率	12.2%		20%
海外売上高比率	8.1%		30%
株主資本比率	60.2%		70%

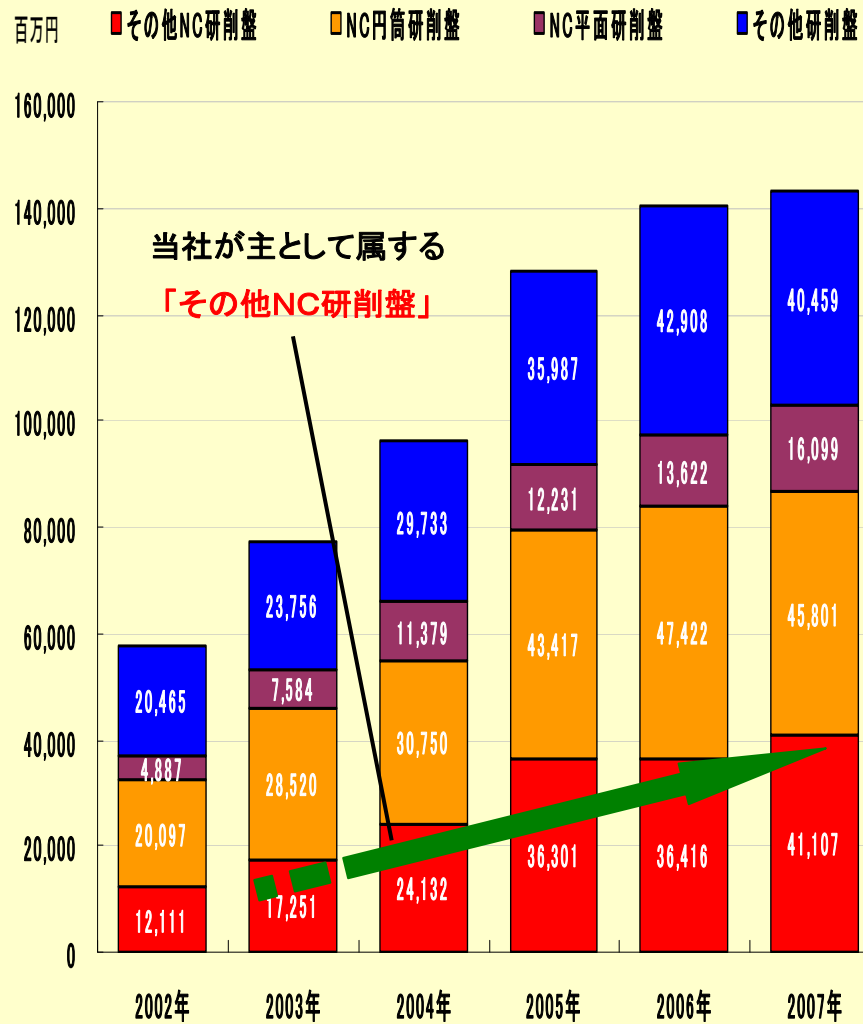
コーポレートストーリー

工作機械受注高



出典: 社団法人日本工作機械工業会

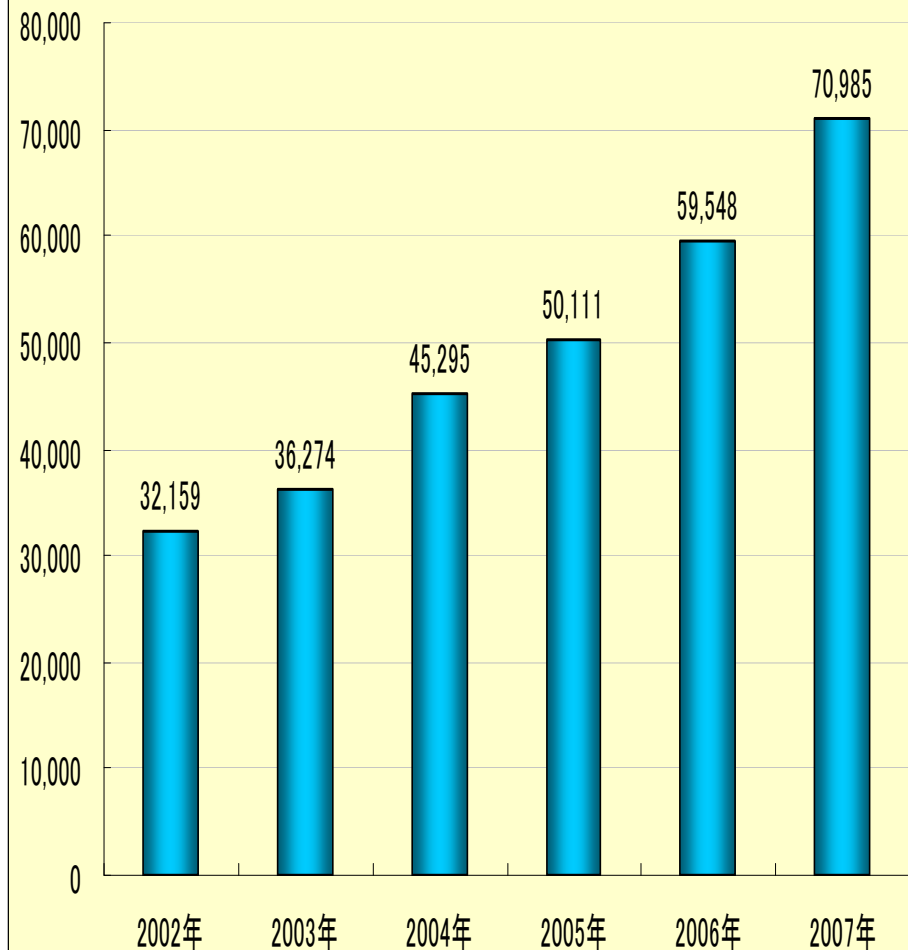
研削盤販売高



出典: 社団法人日本工作機械工業会

工作機械海外市場

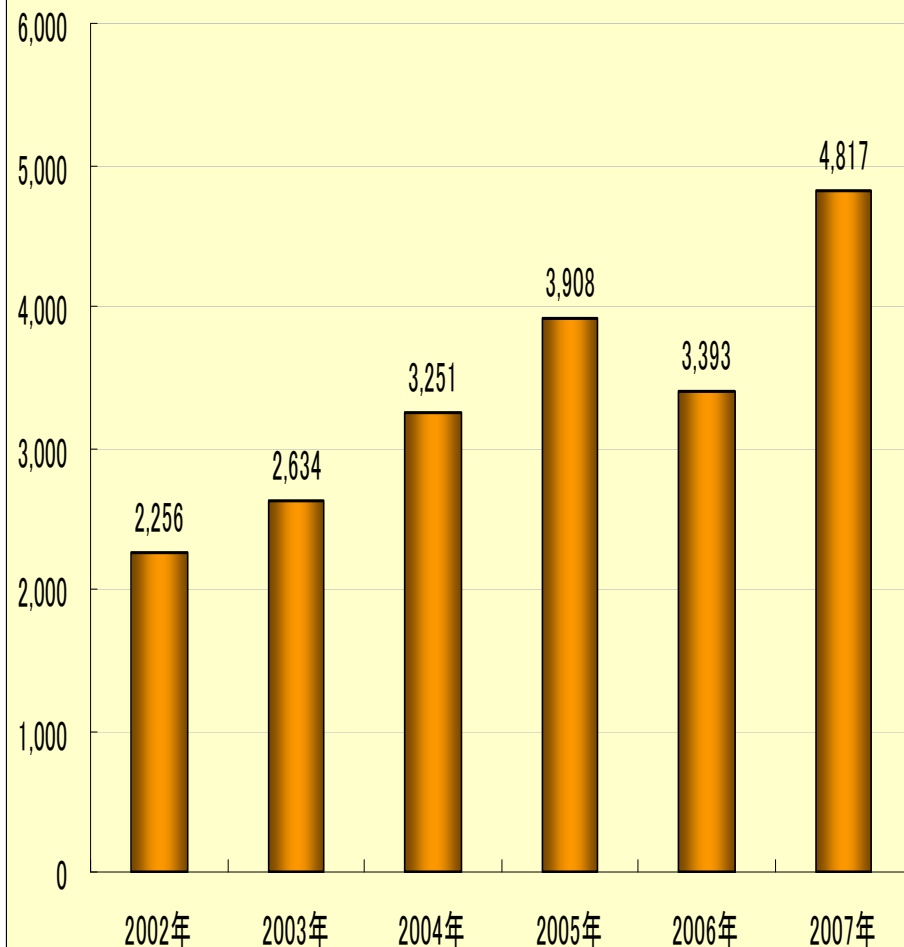
百万ドル



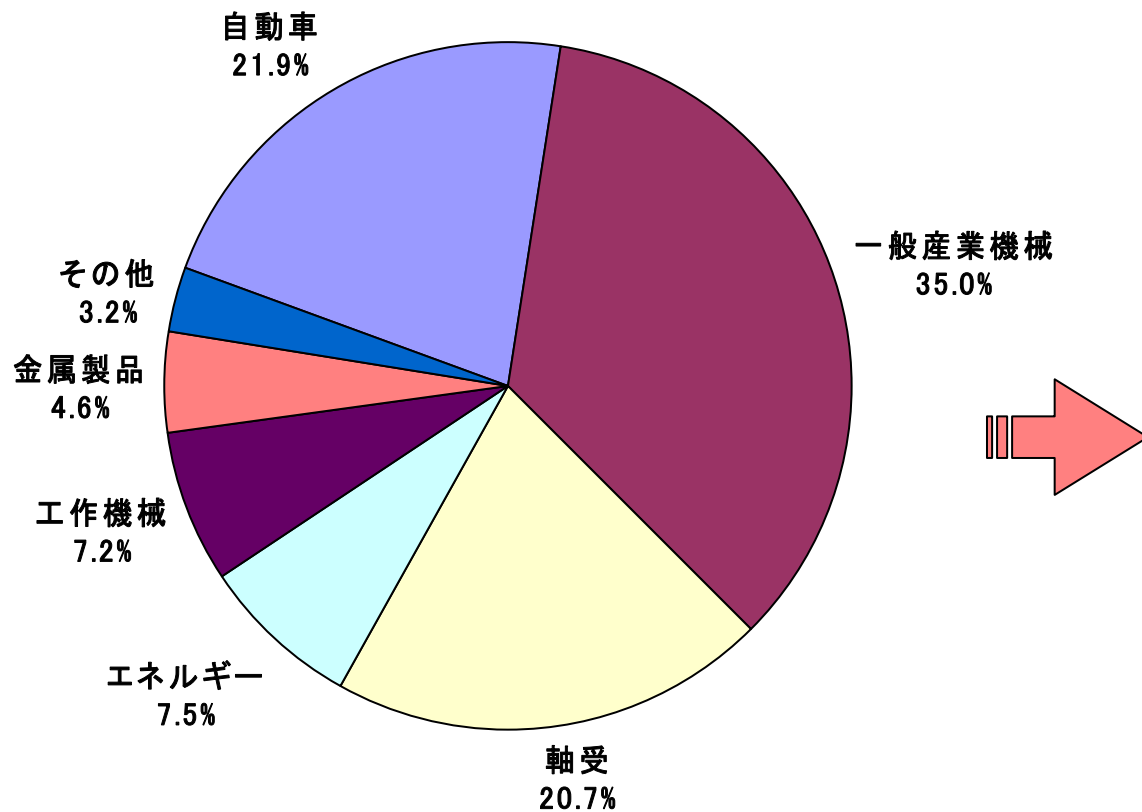
出典: Gardner Publications, Inc. (生産ベース)

研削盤海外市場

百万ドル



出典: 社団法人日本工作機械工業会 (生産ベース)



【一般産業機械】
【軸受・エネルギー】
 幅広い業種へ浸透し取引拡大中
 EX. 建設機械、産業機械
 航空機、船舶、印刷機械
 エネルギー関連
 (タービン・ベアリング・変速機)

- 今後も風力・原子力等のエネルギー関連へ積極展開
- 国内全域、アジア・欧米からの引合も増加中
- 省力化など高精度への要求
- 大型部品加工ニーズの高まり

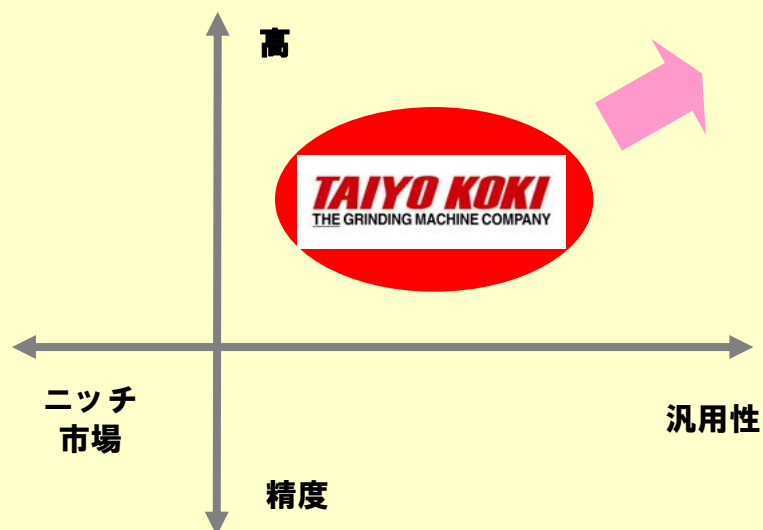
【工作機械】
 大手メーカーを筆頭に
 豊富な実績

【自動車関連】
 大手自動車メーカー
 グループ会社

【その他】
 電機関連・精密機器等

【金属製品】
 歯車製造業者など
 中心に堅調な需要

当社のポジショニング



**立形研削盤の標準機 (NVG・SVG) の
開発・製造・拡販に注力**
顧客の幅広いニーズと高精度化のニーズに
同時に対応

(当社独自の分析に基づき作成)

当社の特徴

高精度の追求

汎用性の向上

大型部品加工への強み

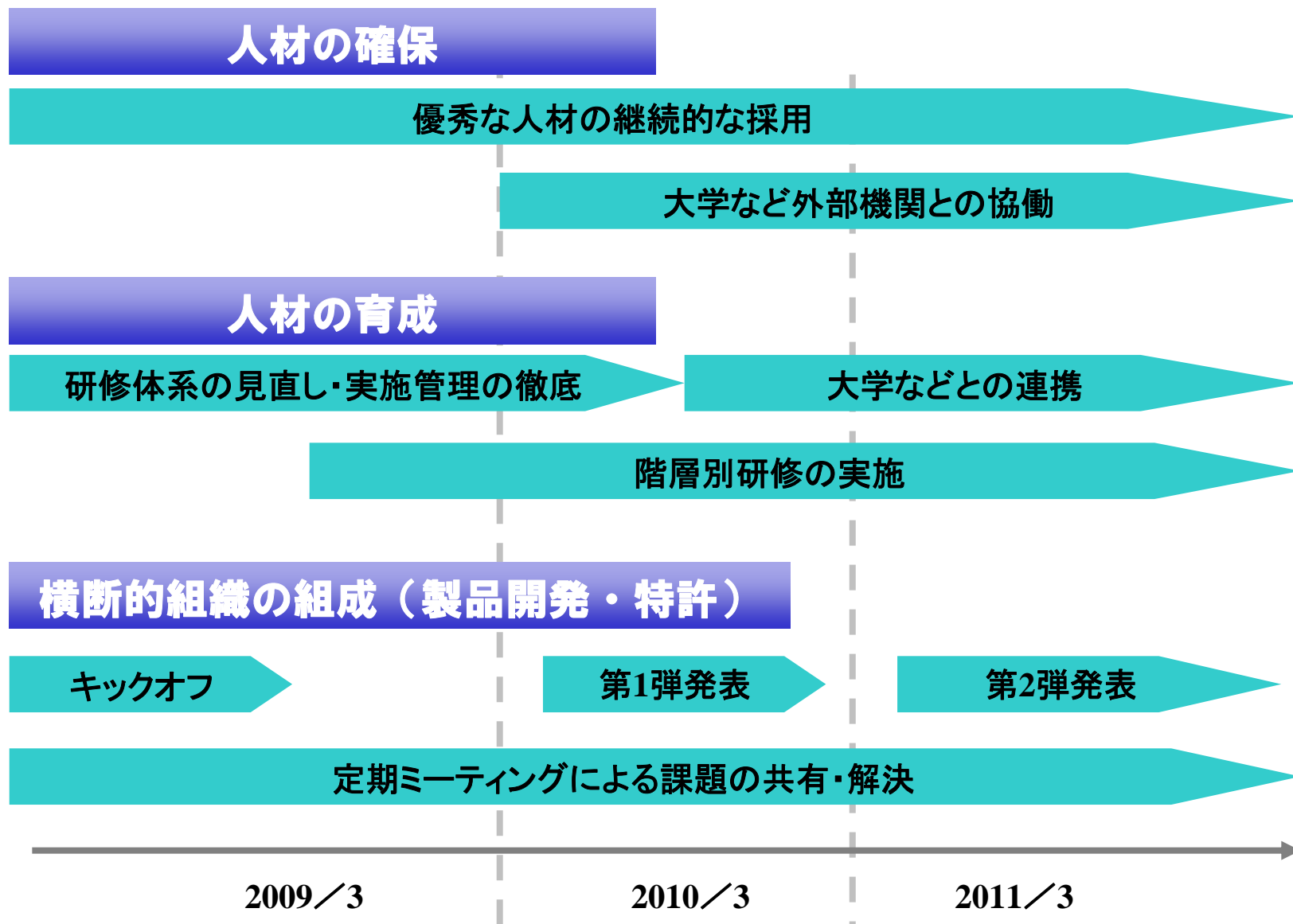


成長性の高い需要業種へ
積極展開

- 建設機械
- エネルギー
- 航空機
- 軸受

	テーマ	内容
I	人と組織の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術・営業の人材確保・育成 ■ 全社横断的組織の組成
II	製品供給能力の レベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ■ サプライヤーとの協力体制 ■ 設計・生産システム刷新 ■ 設備拡充 ■ 生産工程標準化 ■ 製品保証の整備
III	企業の優位性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ テクノロジーマップ ■ 新規参入の脅威 ■ 特許技術取得 ■ 産学連携の推進
IV	リスクマネジメント の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■ 景気変動リスクの軽減 ■ マネジメント ■ コンプライアンス

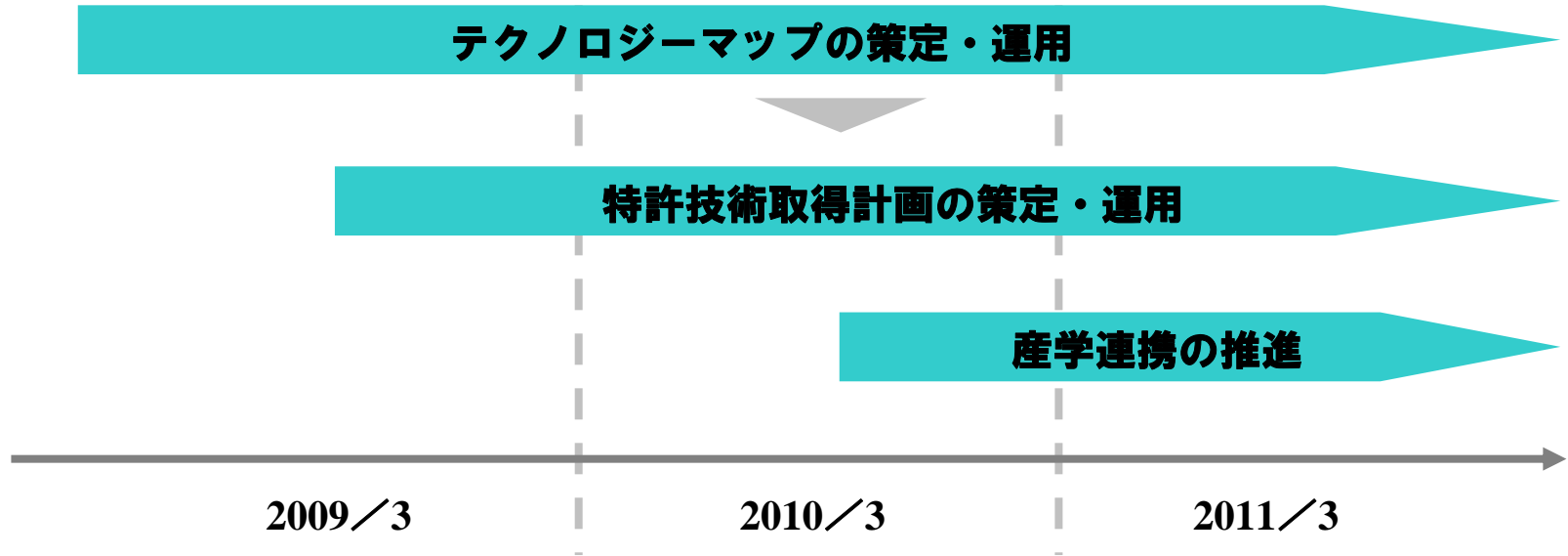
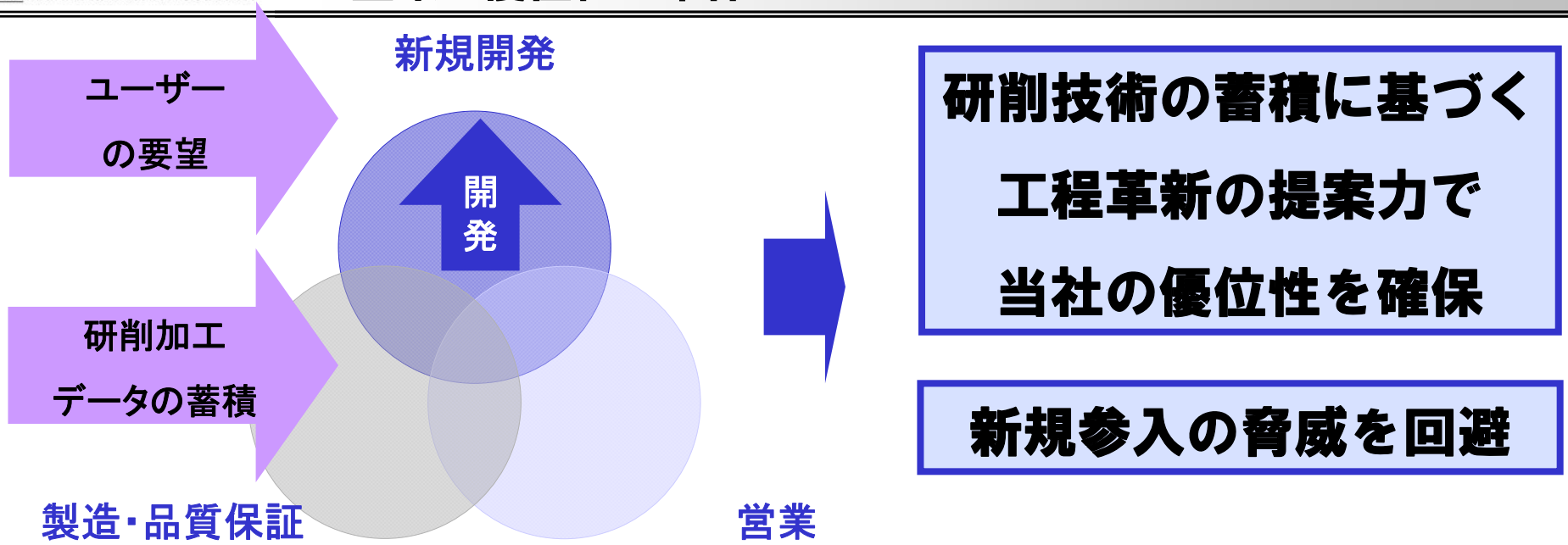
1. 人と組織の整備





効率的な製品の供給体制

III. 企業の優位性の確保



景気変動(リスク)の軽減

海外市場への積極展開

国内新規業種の展開

マネジメント(リスク)の軽減

内部統制の強化と業務効率の向上

人材リスクの軽減 ⇒ 人事・業績評価制度の充実

コンプライアンスの徹底

コンプライアンス意識の醸成

安全衛生法令・輸出管理規制・会社法・金商法・その他法的規制への対応

■ テーマ ■

開発・販売

生産効率化

設備増強

全社

2009/3

2010/3

2011/3

開発ミーティングの開催

テクノロジーマップの作成

海外・新規顧客開拓

海外駐在員・国内サービス人員増強

JIMTOF出展

JIMTOF出展

部品表システム運用

営業・設計・購買・生産の業務システムの効率UP

3次元CAD増強

3次元CAD本格運用により設計効率のUP

製品構成を集約化

受発注システム再構築

サプライヤー管理体制確立

サプライヤー新規開拓を積極展開

工場増設着工

新工場稼動～売上100億円へ向け生産能力UP

人材の確保・育成

J-SOX運用開始

コンプライアンス体制の確立

IV. 2009年3月期業績見通し

- 需要環境は比較的良好
重厚長大産業・エネルギー関連の設備投資は高水準を維持し、
受注は堅調に推移する見通し

- 前年度末受注残高**39**億円と豊富な事業量を確保
(生産リードタイム 約6ヶ月)

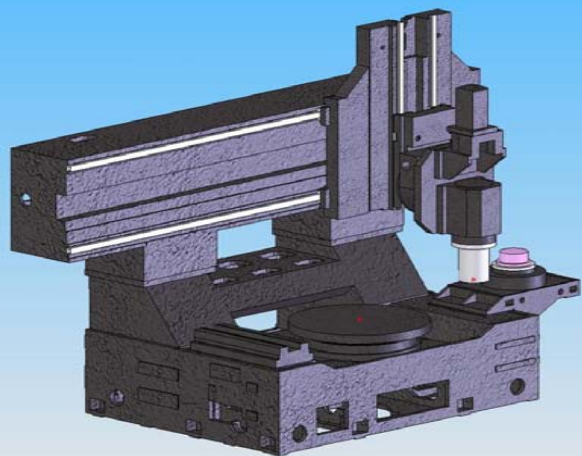
- 業績予想 ⇒ 増収増益を継続
 - 売上高: **7,500**百万円 (前年度比:**15.9%**増加)
 - 営業利益: **1,050**百万円 (前年度比:**32.6%**増加)
 - 営業利益率: **14.0%** (前年度比:**1.8p**上昇)

- 海外売上拡大戦略・本格始動
ターゲットエリア ⇒ アジア・北米

- JIMTOFに向けて新製品展開

	2008年3月期	2009年3月期予想		
	(千円)	(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
売上高	6,471,418	7,500,000	1,028,582	15.9
営業利益	792,384	1,050,000	257,116	32.5
(営業利益率)	12.2%	14.0%	-	-
経常利益	734,566	1,030,000	295,434	40.2
(経常利益率)	11.4%	13.7	-	-
税引前利益	732,086	-	-	-
当期純利益	430,050	600,000	169,950	39.5

開発段階のイメージ画像



【新製品開発】

建設機械等の大型部品
加工に対する需要を喚起
JIMTOF等への出展により
顧客基盤の拡充へ

【生産能力の増強】

部品倉庫の増床により
工場の組立スペースを拡張
今後の増産体制に備え
工場施設の新設を検討中

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたのもので、当社への勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>

